

透水性土間舗装「ドライテック」実施工報告



施工前 砕石転圧状態



施工道具:一般的な道具で施工は可能。



伸縮目地:樹脂性ではなく、キャップの下は木→転圧するとずれるというが良くない。



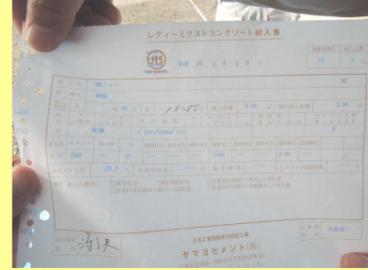
F材投入:現地にて生コン車にF材を投入(袋は水溶性なのでそのまま投入)



分離し易いので、ネコで受け取るのがBEST



かなり水分は少ない



生コン納入書:セメント200、水57、水セメント比28.5、粗骨材1560、混和材2



ドライテックをま振りする



敷均し:転圧をみこして端部はR形状にしておく



端部はプレートが効かないので鉄製のタンパで転圧



レーキで均す



伸縮目地部:ずれないように両側から押さえておく



敷き均し直後:多少べたつくが沈下はしない



プレートで転圧



目地用に角材をおいて



転圧してみた。踏まないと角材がはねる



施工完了:3×6=18㎡で施工時間約70分(左官工2名、運搬2名)

〔塗装〕翌日施工



硬化後目地を外そうとしたがなかなか外せない。



無理やり外したが骨材が多少取れた。この方法は無理である。



塗材の混合



ローラーで塗装、周囲はビニール養生



ローラーだと0.3~0.4kg/㎡奥の方に塗り斑がある。



ガン吹きで施工



ガン吹きで0.2kg/㎡



ガンが特殊な形状であるので、一般の工事店では持っていない可能性あり。



完成